



2019年8月29日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピテクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 052-218-8785

緑内障・高眼圧症治療剤「WP-1303 (H-1129)」の 国内第Ⅲ相臨床試験（比較試験・併用試験）に関するお知らせ

当社が創製した緑内障・高眼圧症治療剤「WP-1303 (H-1129)」は、ライセンスアウト先のみかもと製薬株式会社（以下、「のみかもと製薬」）により、国内第Ⅲ相臨床試験（長期試験）が行われております。

本日、のみかもと製薬は、比較試験・併用試験の実施に向け、一般財団法人日本医薬情報センターが運営する臨床試験情報を公開するためのウェブサイト「臨床試験情報」(<http://www.clinicaltrials.jp>)を通じ、国内第Ⅲ相臨床試験（比較試験・併用試験）情報を追加し、公表したことをお知らせいたします。

のみかもと製薬により、本公表内容に準じて第Ⅲ相臨床試験（比較試験・併用試験）が開始されます。

【試験の概要】

比較試験

グラナテック（ROCK 阻害剤）を比較対照群として、WP-1303 の有効性及び安全性について検証する試験です。

併用試験

現在緑内障治療に一般的に使用されている薬剤（ラタノプロスト（PG 関連薬）及びチモロール（ β 遮断剤））と WP-1303 を併用した場合の有効性及び安全性について、プラセボを対照に検証する試験です。

なお、本件による 2019 年 12 月期の業績に与える影響はありません。また、開発計画の変更もありません。

WP-1303 (H-1129) について

プロテインキナーゼ阻害剤^(注1)を中心とする当社化合物ライブラリー^(注2)のリード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を適応症とする開発品です。

本剤は、各種プロテインキナーゼ^(注3)を阻害することにより、線維柱帯－シュレム管を介して主流出路からの房水流出を促進し眼圧を下降させることが示唆されております。

日本における権利は、2013年3月にわかもと製薬にライセンスアウトし、その後、臨床試験が進められ、2019年1月より国内第Ⅲ相臨床試験が開始されております。

以 上

用語解説

(注1)阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

(注2)化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。

(注3)プロテインキナーゼ

ATP(アデノシン三リン酸と言われ、体内で作られる高エネルギー化合物)等、生体においてエネルギーの元となる低分子物質等のリン酸基を、タンパク質分子に転移する(リン酸化)酵素です。一般にリン酸化を触媒する酵素をキナーゼと呼び、特にタンパク質をリン酸化するキナーゼをプロテインキナーゼと言います。